

令和2年度

福祉専門職による個別計画作成

【避難行動要支援者】 年2回更新

- ・名簿掲載者：9,501人（令和3年1月末現在）
- ・情報提供同意者：1,532人
- ・個別避難計画作成希望者：1,289人

空欄が目立つ

支援者がいない

((課題山積))

どうやって作成するの？

作成支援者の負担大

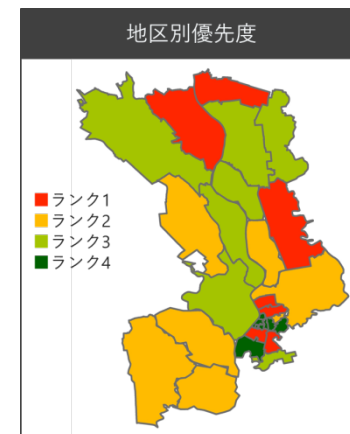
他事業
他システム
との連携

令和3年度

1. 優先度の考え方を整理
2. 個別計画作成プロセスを構築
3. リーダー育成手法の検討

ランクごとの要支援者数

	避難困難度				総計
	AA	A	B	C	
浸水想定深					
5.0-10.0m	14	9	11	7	41
3.0-5.0m	85	59	60	41	245
0.5-3.0m	160	129	143	94	526
総計	259	197	214	142	812



令和4年度

1. 令和3年作成プログラムの実行
2. 福祉避難所直接避難の検討
3. 作成ツール（デジタル版）開発着手

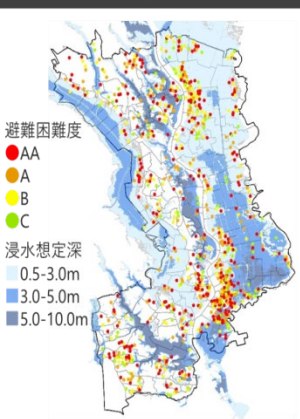


【防災行動シート】マイ・タイムライン

私・家族の行動 【住宅・飛行機内】	避難支援者の行動 【避難所】	避難支援者の行動 【避難所外】
1 1. 避難行動要支援者（高齢者、障害者、妊婦、乳幼児、外国人、外国人等）の避難支援を行う。避難支援者は、避難行動要支援者の避難行動を支援し、避難行動要支援者の安全確保を図る。	2 2. 避難行動要支援者の避難行動を支援し、避難行動要支援者の安全確保を図る。	3 3. 避難行動要支援者の避難行動を支援し、避難行動要支援者の安全確保を図る。
4 4. 避難行動要支援者の避難行動を支援し、避難行動要支援者の安全確保を図る。	5 5. 避難行動要支援者の避難行動を支援し、避難行動要支援者の安全確保を図る。	6 6. 避難行動要支援者の避難行動を支援し、避難行動要支援者の安全確保を図る。

優先度整理

常総市全域の要支援者

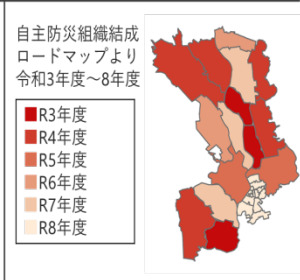


ランクごとの要支援者数

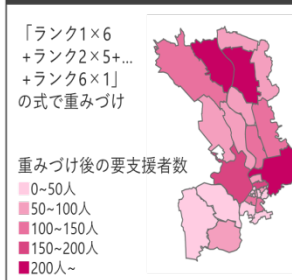
		避難困難度				総計
		AA	A	B	C	
浸水想定深	5.0-10.0m	14	9	11	7	41
	3.0-5.0m	85	59	60	41	245
	0.5-3.0m	160	129	143	94	526
総計		259	197	214	142	812

ランク	要支援者数
ランク1	94
ランク2	730
ランク3	196
ランク4	184
ランク5	84
ランク6	84

自主防災組織の結成率



個人別優先度による重みづけ



- 自主防災組織結成地区
- 重みづけ後の要支援者数の多いところ

地区別WS開催の優先度が高い

作成プロセス



(全体像が見える化)

令和3年度

リーダー研修会

リスク知る/情報活用/話し合う

モデル地区計画作成会

検証/課題整理/新発見



令和4年度

地域ケア会議計画作成会

項目	内容	担当	所要目安(分)
開会・挨拶		幸せ長寿課/防災危機管理課	5
総論	個別避難計画を作ります	防災危機管理課	5
STEP①	洪水リスクを知る	防災士連絡協議会	15
STEP②	洪水時に得られる情報を知る タイムラインの考え方を知る	防災士連絡協議会	15
STEP③	みんなで要支援者の計画を考える(目安) 10分: ラベルを精査 20分: 警戒レベル1~3毎にラベル配置 10分: 意見の取りまとめ	防災危機管理課	40
質疑応答		-	10

(計画づくりを実践)

タイムラインWEB

STEP1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る



STEP2 タイムラインの考え方を知る



STEP3 マイタイムライン作成 (イメージ)



福祉事業所と避難所訓練



(取組みやすい環境づくり)

個別避難計画作成そのもの

(課題)

- ・アナログ→デジタルへ変換は人力
- ・作成したデータの管理
- ・支援者の選定
- ・直接避難の壁（利用者優先）

直接避難の仕組み

(課題)

- ・公共施設（福祉避難所）で実施
- （理由）
- ・コロナ感染蔓延予防

計画作成会開催（地域ケア会議）

(課題)

当事者や関係者の参加調整負担大

(理由)

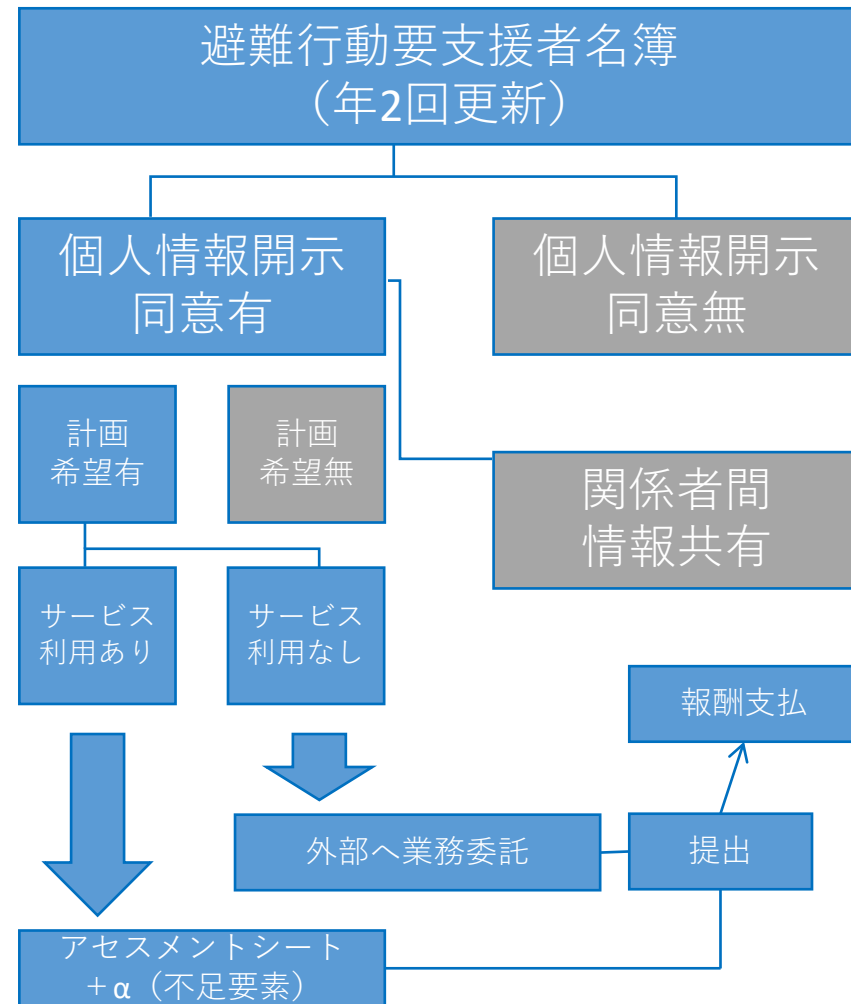
行政側

- ・ケア会議に必ず担当のケアマネが参加するとは限らない。
- ・対象者にも別途通知が必要。

参加者

- ・担当する地域が広いため、いつもは参加して
- いない会議に参加が必要
- ・そもそも足を運ぶことが困難

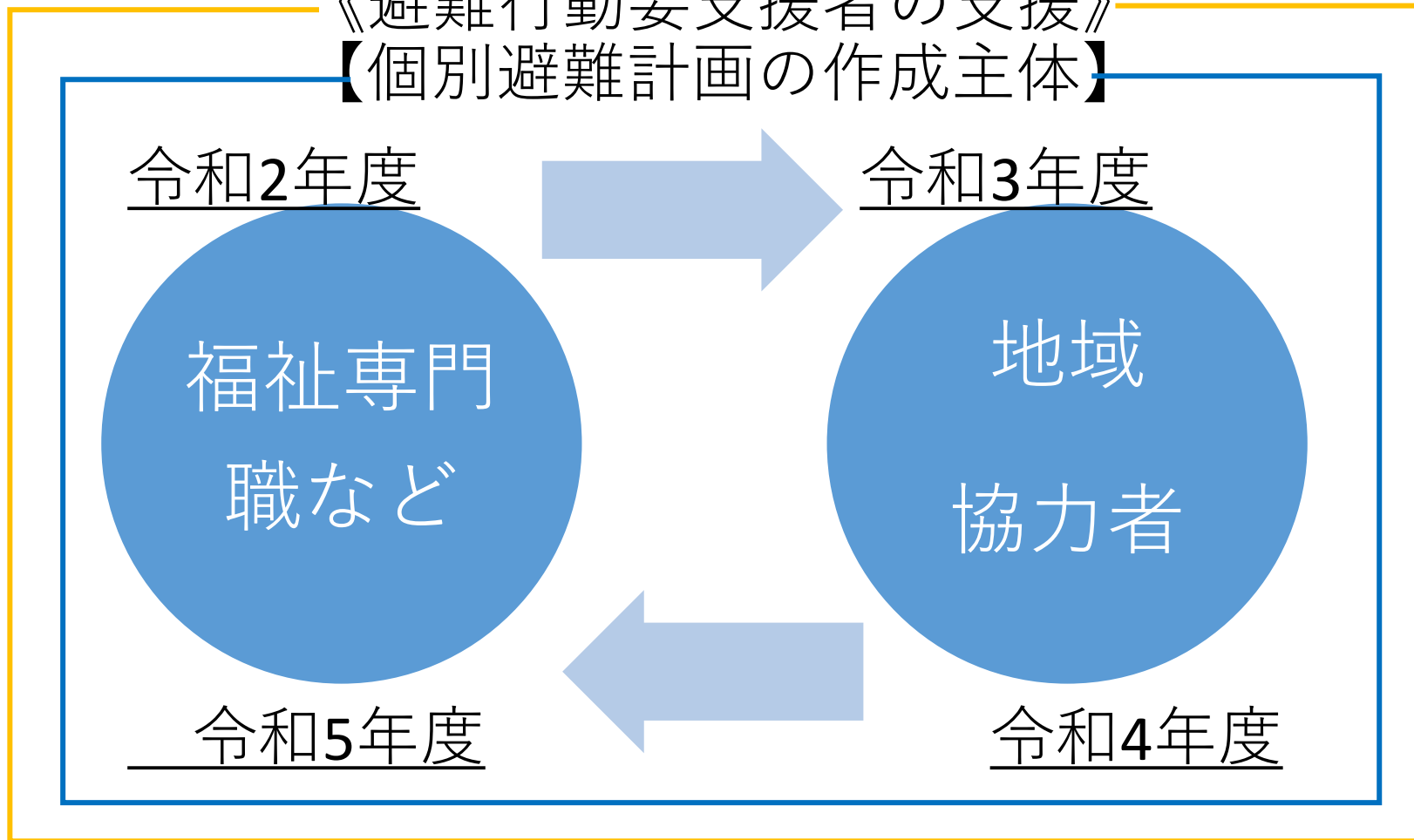
個別避難計画作成手順



(継続)

福祉避難所の受入訓練／タイムラインWEB

《避難行動要支援者の支援》
【個別避難計画の作成主体】



令和2年度と令和5年度の違いは？

情報の利活用がポイント

タイムライン／アセスメントシート／部局や関係者の情報連携

計画作成支援者と
計画上の支援者は、
別と考えるべし